



平成19年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

北海道亀田郡七飯町長 中 宮 安



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

平成19年4月2日付国道企第114号にて照会のありました標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見について

北海道亀田郡七飯町長 中 宮 安 一

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

函館市を中心とした道南地域においては、様々な課題が顕在化、深刻化しており、今後の地域活性化や安全・安心な地域を確保するために地域にとって必要な道路整備が重点的に進められる必要があり、これらを実現するために以下のような道路政策を特に優先的に進めるべきと考えます。

① ネットワークの戦略的整備

道南地域は北海道における陸・海・空の南の玄関口であり、北海道と本州を結ぶ物流の大動脈を担っております。

特に、北海道からは農産物や水産物をはじめとした大量の物流が道南地域を経由しており、道南地域からはイカ、ホタテ、昆布などの水産物、七飯町からも道産米、馬鈴薯、牛肉などの農畜産物が本州に向けて輸送されているところであります。

これらの物流が確実かつスムーズに行われるための交通ネットワークの形成が必要不可欠であります。道南地域においては、未だに道央方面からの北海道縦貫自動車道、函館空港へのアクセス道路（函館新外環状道路）、函館から江差方面への函館・江差自動車道などの高規格幹線道路の整備が道半ばの状況にあり、道南地域の大きな課題となっております。

また、北海道縦貫自動車道七飯インターと函館新道藤城インター間のアクセス道路についても、道南地域における高速交通網のネットワークの形成から高規格幹線道路の戦略的な整備が必要不可欠であります。

道南地域は、全国的に有名な函館のほか、七飯町には新日本三景の一つである国定公園大沼などを抱え、毎年全国からも多くの観光客を向えているとともに、近年は海外、特に東アジアからの観光客が右肩上がり増加しております。このことから、道南地方の観光地、更には、洞爺・登別、札幌などの観光地を効果的にネットワークすることが、国内及び国際的な競争力の向上に期すると考えております。

（関連する道路事業）

- ・北海道縦貫自動車道の整備促進
- ・高規格幹線道路 函館・江差自動車道の整備促進
- ・地域高規格道路 函館新外環状道路の整備促進
- ・北海道縦貫自動車道～自動車専用道路函館新道間のアクセス道路の整備
- ・主要道道大沼公園鹿部線の整備促進
- ・一般道道大沼公園線の整備促進

② 交通事故対策

道南地域は、交通事故における致死率が全国や道内他地域と比べて高く、正面衝突

などによる重大な事故が発生しているところでもあります。

また、国道5号の大沼公園付近は、カーブがきつい状況であるため、人身事故に至らないまでも、危険を感じたり、ヒヤリとさせられる場面が多く存在しておりますので、安全で安心して通行できる道路づくりが求められています。

さらに、道南地域は、道内平均以上に高齢化が進んでいるところから、高齢者ドライバー率も今後増加することが予測され、より一層の安全対策が必要であると考えております。

(関連する道路事業)

- ・国道5号大沼視距改良
- ・ランブルストリップスの設置 他

③ 道路除雪をはじめとする雪対策など

道南地域は、道内の他地域と比べ比較的降雪量は少ないものの、例年一定量の降雪があり、冬期間は路面凍結や圧雪の状態になります。

また、雪のために必然的に車道幅も少なくなり、道路の走行機能が著しく低下するとともに、地吹雪をはじめとする様々な気象状況によって交通障害が生じたり、降雪が少ない分路面が出てブラックアイスバーンの状態になり、場合によってはスリップによる多重事故を巻き起こすなど大きな事故が発生しております。

冬期間の道路交通の確保は、多くの生活物資や住民生活にとって欠くことのできないものであり、道路の除雪、スリップ防止をはじめとする雪対策を確実に実施することが必要不可欠であります。

(関連する道路事業)

- ・道路除雪対策、排雪対策、凍結防止、スリップ防止、吹きだまり対策、視野の確保、視野の誘導、誘雪溝の設置、雪情報の提供 他

④ 災害に強い道路整備、橋梁など耐震性の確保

道南地域は北海道において早くから開けた地であることから、国道5号は古くから整備が行われてきておりますが、道路構造物も古いものは残されております。

北海道は、全国的に見ても地震の多いところであり、道南地域においても、かつては南西沖地震（平成5年7月）など大規模な地震により、国道が寸断されるなど大きな被害がおきております。

また、豪雨時には、がけ崩れや河川の氾濫により道路や橋が通行止めとなり、日本海側まで迂回を強いられるなど、その社会的影響は大きいところであります。

このことから、集中豪雨や地震など災害に強い道路整備をはじめ、橋梁などの耐震性の確保や寿命の長い道路整備は、生活環境や生活物資の確保という観点から必要不可欠であります。

(関連する道路事業)

- ・がけ崩れ防止対策、橋梁の耐震補強、落橋防止、適切な橋の架け換え 他

⑤ シーニックバイウェイをはじめとする道路景観の形成など

国道5号の赤松並木は、明治天皇が行幸されたのを記念して「札幌本道」に植栽されて、現在に至っておりますが、この赤松並木は、平成7年6月に「札幌本道赤松街道」として、北海道で唯一歴史国道に選定され、その保全と活用に努めることとしています。

函館新道・国道5号をはじめとする道路は、平成18年11月に「函館・大沼・噴火湾ルート」がシーニックバイウェイの指定ルートに選定されたことにより、行政と地域住民の団体が協働・連携して、赤松街道の景観をはじめ、歴史的資源や自然環境の保全・活用によって、沿道景観の美化・緑化を推進するとともに、新たな広域観光ルートの形成を図るための道路政策が必要不可欠であります。

(関連する道路事業)

- ・国道5号赤松街道の景観整備
- ・シーニックバイウェイ北海道の推進
- ・VSP、花いっぱい運動の推進 他

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

これまで基礎的な社会基盤である道路（一般国道）は着実に整備されてきたところでありますが、交通の高速化、社会生活での行動の広範囲化に伴い、新幹線や高速道路の整備は非常に重要になっています。

四全総及び全総計画の中では、国土の均衡ある発展及び新しい国土軸の形成を目指して高速交通網などの整備は国幹事業として進めておりましたが、北海道、特に道南地域においてはその整備が遅れている状況にあることから、地域格差の是正を図るため早期に完成することが肝要であると考えます。

しかしながら、道路整備については、近年特に説明責任や透明性の確保、自然の景観への配慮など、国民理解と協力のもと整備するという社会的コンセンサスを得ながら進めて行くことも重要であると考えます。

(関連する事業・事項)

- ・北海道縦貫自動車道など高規格道路の整備目標の明確化
- ・計画段階から国民（地域住民）の意見の反映 他

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路整備については、全国各地から数多く要望していると思いますが、整備が決定している道路については、集中的に整備すべきと考えます。

特に、北海道新幹線新函館駅（仮称）までの開業が平成27年ということから、新幹線開業の効果を観光をはじめ、各産業に波及させるため、新幹線と連動した道路整備が必要不可欠であると考えます。

また、北海道は北国という特異性から冬期間の交通の確保、安全性の確保という観点から、道路の整備手法又は管理方法を検討していただき、それを都道府県道や市町村道と連携して整備及び管理に関する情報提供していただければと考えます。

さらに、三位一体改革などにより、地方財政が厳しくなる一方で、道路特定財源の一

般財源化が決定するなど、財政状況はますます厳しくなると考えられるため、道路整備事業に係る補助率の確保、採択基準の緩和などを要望します。